



第 6 章

環境保全に向けての
参加の促進

第6章 環境保全に向けての参加の推進

第1節 環境教育・環境学習の推進

1. 環境教育【高校教育課・特別支援教育課・義務教育課】

(1) 環境教育のねらい

学校においては、持続可能な社会の実現を目指し、児童生徒の環境問題への関心を高めるとともに、人間と環境のかかわり方や環境に対する人間の責任・役割について理解させ、環境の保全やよりよい環境の創造に向け、生涯にわたって主体的に行動できる能力や態度を育成することが大切です。

そのためには、以下のことが求められます。

- ①教育課程への適切な位置づけと、年間指導計画に基づいた指導
- ②全教職員の共通理解の促進と推進体制の確立
- ③地域の人材や自然、素材（ひと・もの・こと）等を生かした学習活動の工夫

(2) 「環境教育講座」の実施

教育センターの研修講座で、小・中・高・特別支援学校の教員及び実習教員を対象に、体験活動をとおして、環境教育について認識を深めるとともに、指導力の向上を図る目的で実施しました。

○平成23年度「環境教育講座」

目 的… 貴重な動植物が存在する隠岐島を会場に、自然環境保全を学ぶための効果的な自然観察法の体験や、地域ぐるみで取り組んでいる環境教育の実践を学ぶことにより、総合的な学習の時間を含む様々な教育活動における環境教育の実践指導力を向上させる。

期 間… 2日間

会 場… 海士町立海士中学校、隠岐自然村周辺、豊田港及びオシキ浜、海士町体験交流施設

受講人数… 19名（小：8名、中：4名、高：5名、特：2名）

研修内容

講 義 学校教育における環境教育

講義・実習 海士町の環境教育への取り組み及び海士中学校のエコ改修見学

実 習 I 身近な自然観察をとおした環境学習

実 習 II 夜光虫及びウミホタルの観察

実 習 III 磯の自然観察をとおした環境学習

演 習 研修のふり返し及びまとめのためのワークショップ

講 師…	隠岐自然村	代表	深谷 治
	隠岐自然村	副代表	近見 芳恵
	海士町教育委員会	環境教育コーディネーター	井上さやか
	島根県教育センター	指導主事	

(3) 「学校版エコライフチャレンジしまね」の推進

- ・環境に負荷の少ない学校運営を目指して、平成18年度から県内全ての公立・私立・附属学校を対象にして開始しました。
- ・各学校での消費エネルギーを入力すると、自動的にグラフ化して表示したり、二酸化炭素の削減量を表示したりできる。また、各学校の取組計画や、活動レポートを掲載し、県民に広く公開することで、情報の発信や共有化も可能である。
- ・平成24年3月31日現在、306校の登録（県内の全ての小・中・高等学校・特別支援学校の約74%）がありました。
- ・「学校版エコライフチャレンジしまね」のURLアドレス及びトップページアドレス <http://www.ecoschool.jp/scl/>

(4) 補助事業

「学校版エコライフチャレンジしまね」の登録促進と、環境学習の充実を目的に、産業廃棄物減量税の一部を活用し、小・中学校は「環境教育推進事業」、県立学校は「環境保全活動推進事業」を実施しました。

① 環境教育推進事業

学校版エコライフチャレンジしまね登録数に対し、1校5万円を上限に、希望する市町村に対して補助を行いました。平成23年度は、17市町の199校に交付しました。交付対象校は、その成果等を「学校版エコライフチャレンジしまね」の各校のホームページ上でレポートしました。

② 環境保全活動推進事業

希望する高等学校、特別支援学校に対し、一般的な環境教育および3R推進活動に1校30万円を上限とし補助しました。平成23度は、計17校に交付しました。

(5) 環境教育の実践例

① 小・中学校の取組

○出雲市立平田小学校

・「みんなで調べる宍道湖流入河川調査」参加

学校の前に流れている平田船川や校区内を流れている湯谷川をはじめとしてたくさんの河川が児童のまわりには流れているものの、児童の興味関心は低くかったです。流入河川調査の学習活動を通して、児童は人間が河川と共存していくことについて考え、「これからも川を大切にしていきたい。」「地域の環境がよりよくなるように活動していきたい。」「宍道湖を自慢できるような湖にしていきたい。」等の思いをもつことができました。

〈活動例〉

パックテストによるCODの調査

宍道湖ヨシ再生プロジェクト（ヨシの植栽）への参加

河川の環境保全のための諸活動（ゴミ拾い、ポスター・チラシの作成・配布 等）

河川の水生物調査

・「学校版エコライフチャレンジしまね」への参加

教室、特別教室、職員室など全ての部屋に古紙を回収するかごを設置し、紙の切れ端までも捨てないで回収するようにしています。校内の印刷物は可能な限り裏紙を再利用しています。また、印刷はできるだけ両面印刷を行うことにより、紙の節約に心がけています。

○松江市立鹿島中学校

〈ピ鹿中遠足の取組〉

・ふるさと学習の一環として町内の海岸へ遠足を実施しました。ふるさとの自然に親しみながら海岸の清掃を行いました。

・学校支援地域コーディネーターから地域の方々（各ボランティア団体、高齢者教室等）に呼びかけてもらい、共に清掃活動を行いました。

・生徒は、海岸に外国からの漂流物や大きなゴミが流れ着いていることに驚いていましたが、地域の方や友達と協力して掃除をすることができました。

・生徒は、ふるさとの自然の大切さやふるさとへの愛着、地域の方々の優しさ、地域の一員としての自覚等様々なことを感じていました。



② 県立学校の取組

○松江北高等学校

- ・身近な環境調査と成果の普及活動

島根県保健環境科学研究所で、島根県の環境状態や水質調査・大気調査の方法を学習した後、実際に身近な環境（水道水・井戸水、雨水、池・堀、河川・宍道湖、大気）の調査を行いました。学園祭での調査結果の発表や、市内の中学生を対象とした「環境教育講座」における環境調査活動などを通じ、保護者や地域の方々に身近な環境に関心を持っていただきました。

○松江ろう学校

- ・下水道に関する出前講座

島根県下水道推進課の職員を講師として迎え、下水道の仕組みや下水処理に負担をかけない家庭生活の営み方について学びました。環境保全について、普段の生活で自分たちができることがわかり、実践にもつなげることができました。

- ・宍道湖湖岸の清掃活動

清掃活動を通して、生徒の環境改善や奉仕への気持ちが高まりました。いろいろなゴミがあることを実感し、モラルの大切さも感じることができました。

③ しまね出前講座の活用

○各学校では、県が実施している「しまね出前講座」（県民の要望に応じて県職員が出向いて話や意見交換を行う）を活用した環境学習が行われており、平成23年度の環境関連講座は6講座で47回実施されました。実施回数が多かった下水道出前講座「下水道ってな～に？」では、家庭での生活排水対策の意識向上を目的として下水道のしくみや役割を実験などによりわかりやすく解説しており、31校、1,273名の児童・生徒が受講しました。

【各種受賞校等】

○みんなで調べる宍道湖流入河川調査

- | | | |
|-------------------|------------|-----------|
| ・環境大臣賞 | 出雲市立平田小学校 | |
| ・島根県知事賞 | 出雲市立莊原小学校 | |
| ・国土交通省中国地方整備局長賞 | 雲南市立西日登小学校 | |
| ・宍道湖水質汚濁防止対策協議会長賞 | 松江市立来待小学校 | 出雲市立灘分小学校 |
| | 出雲市立伊野小学校 | 出雲市立出東小学校 |
| | 奥出雲町立亀嵩小学校 | |

○みんなで調べる中海流入河川調査

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| ・島根県知事賞 | 安来市立能義小学校 | |
| ・島根県教育長賞 | 安来市立十神小学校 | |
| ・奨励賞 | 安来市立島田小学校 | 安来市立広瀬小学校 |

○環境美化教育優良校表彰

- | | | | |
|--------|-----|-------|-----------|
| ・中学校部門 | 優秀校 | 協会会長賞 | 松江市立鹿島中学校 |
|--------|-----|-------|-----------|

○緑の少年団発表大会

- | | | |
|----------|------------|-----------|
| ・最優秀賞 | 江津市立江津東小学校 | 緑の少年団 |
| ・優秀賞 | 奥出雲町立布勢小学校 | 緑の少年団 |
| ・みどりの奨励賞 | 邑南町立阿須那小学校 | 緑の少年団 |
| | 松江市立大谷小学校 | 緑の少年団 |
| | 津和野町立木部小学校 | 緑の少年団 |
| | 出雲市立斐川東中学校 | ふるさと緑の少年団 |

○愛鳥モデル校

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| ・安来市立南小学校 | ・出雲市立出東小学校 | ・益田市立桂平小学校 |
|-----------|------------|------------|

第6章 環境保全に向けての参加の推進

2 こどもエコクラブ事業【環境政策課】

こどもエコクラブ事業は、次世代を担う子供たち（幼児（3歳）から高校生までなら誰でも参加可能）を対象とした環境活動のクラブ事業で、子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することにより、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的として、（財）日本環境協会が実施しています。

※平成7年度～平成22年度：環境省事業

平成23年度～：（財）日本環境協会事業

平成23年度は、県内で64のこどもエコクラブの登録があり、様々な環境保全活動を行いました。

表6-1-1 こどもエコクラブの登録状況

	登録クラブ	メンバー（人）	サポーター（人）
平成7年度	37	84	—
平成8年度	56	811	—
平成9年度	44	621	—
平成10年度	54	735	106
平成11年度	54	609	145
平成12年度	41	643	147
平成13年度	36	745	151
平成14年度	38	1,165	211
平成15年度	56	1,168	198
平成16年度	46	1,029	250
平成17年度	38	691	202
平成18年度	34	809	208
平成19年度	60	4,406	583
平成20年度	48	1,996	439
平成21年度	78	2,811	577
平成22年度	69	3,084	538
平成23年度	64	2,983	538

3 しまね環境学習推進事業【環境政策課】

（公財）しまね自然と環境財団が、県内小学生を対象に「もったいない生活日記コンクール」を実施し、5,396人の参加者が地球温暖化防止に取り組みました。

第2節 各主体の環境保全活動の推進【環境政策課】

1 普及啓発事業

(1) 環境月間行事

平成6年度から環境月間を6月に改め、6月5日の環境の日を中心として、各種の事業を実施しています。

① ライトダウンキャンペーン

「電気を消して、未来をみつめよう」をスローガンに、6月21日から7月7日までの間、ライトアップ施設や家庭の照明の消灯を呼びかけました。

また、6月21日（夏至）と7月7日（七夕）を特別実施日として、両日の夜8時から10時までの2時間、一斉消灯を呼びかけました。

② クリーンしまね—環境美化行動の日

実践活動を通じて環境美化意識や資源を大切にすることの意識の普及啓発を図るため、環境美化行動の日を設定し、広く一般参加を得て清掃活動、空き缶の分別収集とリサイクル等を行いました。

・期日：6月5日（日）

・提唱：島根県

・内容：市町村、各種団体等により公園、緑地、水辺等の清掃や空き缶の分別収集

(2) 環境保全普及啓発の広報

今日の多様化した環境問題を解決していくためには、県民、事業者及び各種団体等の自主的かつ積極的な活動が不可欠となっています。

そこで、すべての県民が環境に配慮した行動がとれるように、県の環境施策や各種月間等の環境情報について、最も効果的な伝達媒体であるマスメディアを活用し広報・啓発を図っています。

・新聞広報3件…環境月間、地球温暖化防止月間、省エネルギー月間

・ラジオスポット放送…エコドライブ

2 環境白書の発行

本県の環境の状況や環境の保全に関する施策の実施状況等を取りまとめ、「環境白書」として作成し、各市町村、公立図書館や関係機関等へ配布するとともに県のホームページに掲載し、県民や事業者への公表に努めました。

3 環境マネジメントシステムの普及・啓発

「企業が環境に関する方針や目標等を自ら設定し、これらの達成に向けて自主的に取り組むこと」といった内容を指す「環境管理」について、国際的な統一規格としてISO14000シリーズ環境管理システムに関する一部が平成8年9月に規格化されました。

環境マネジメントシステムは、簡易版も含めて今日の環境問題解決への有効な手法であるので、事業者の認証取得への情報提供を図っています。

4 環境保全活動助成事業

(公財)しまね自然と環境財団を通じて、以下の事業を実施しました。

① ふれあい環境助成金の交付

県内のボランティア団体や法人が行う自主的な環境保全活動を支援するため資金の一部を助成しました。

第6章 環境保全に向けての参加の推進

- ・助成件数：37件
- ・助成額（確定）：6,830千円
- ② 講師・指導員派遣事業
環境アドバイザーとして15名を委嘱し、県民や事業者が実施する研修会等に派遣しました。
 - ・派遣件数：22件
- ③ 環境フェアの開催
「しまねエコフェスタ2011」を開催し、環境団体活動の展示、活動発表を行い、団体間交流と県民への情報発信を行いました。
 - ・日 時 平成23年10月22日～23日
 - ・場 所 大田市（島根県立三瓶自然館）
 - ・参加者 28団体、約6,000人
 - ・概 要 エコステージでは「拡げようエコの輪！」と題し、環境ボランティア団体からの活動発表、石見神楽の上演、ローカルヒーローショー、ミニエコ劇場等を行いました。イベント広場では、環境団体活動展示、エコクラフト体験、エコアクションラリー、移動水族館・移動動物園等多彩な催しを行いました。